

お姫様が所望した歌集『類題和歌補闕』

江戸時代、武家の姫君たちは、政治に直接関わることはまれでしたが、奥方たちの社会の中では情報交換などを行っており、自然とさまざまな教養を身につけておく必要がありました。今回は忍藩主松平家の姫君のひとり、姫の要望で編まれた歌集『類題和歌補闕』と、その編者である加藤古風について紹介しましょう。

操姫は文化14年(1817)に松平忠翼の末娘として生まれ、後に西大平藩主大岡忠愛に嫁ぎました。『類題和歌補闕』は、文政13年(1830)彼女が13歳のときに所望して、作られた書物です。江戸時代初期に出された『類題和歌集』は1万2千の歌題と3万首の歌が収められた、歌集を兼ねた参考書です。これをさらに補う叙述がある書物が

欲しいという操姫の願いを叶える形で、実兄の忍藩主松平忠義は、古典文学に造詣の深かった家臣の加藤古風にその編さんを命じました。



類題和歌補闕 春(当館蔵)

古風は江戸幕府の儒学者成島錦江の子和鼎に和歌を学び、松平家では日記役を長らく勤めました。文化年間以降は藩主やその家族の側に仕え、作歌の相手をしたようです。現代でいう家庭教師のような藩主に信頼された存在でした。その後『類題和歌補闕』は操姫を通じて江戸城の大奥や御三家に献上され、古風の名声は諸大名家にまで知れ渡ったといわれます。他家から高禄で仕官の誘いもありましたが、古風は「二君に仕えず」と断ったと伝えられます。なおこの書物は、10月12日(土)から11月24日(日)まで郷土博物館で開催の企画展「武家の姫君たち」で展示します。姫君たちの雅な文化をぜひご堪能ください。(郷土博物館 澤村怜薫)

はじめまして



平成30年12月生まれのお子さんを募集します

- 10月1日(火)～31日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、11月5日(火)午前11時から市役所307会議室で公開抽選を行います。



平成30年 10月生まれのおともだち



**山本 梨々華ちゃん(持田)**  
平成30年10月6日生まれ  
父・良平さん 母・友梨さん  
「三元気に大きく育ってね♡」



**土釜 光晴ちゃん(持田)**  
平成30年10月31日生まれ  
父・智士さん 母・ゆうきさん  
「すくすくと 大きくなってね♡」



**大澤 志遙ちゃん(持田)**  
平成30年10月31日生まれ  
父・琢也さん 母・曜子さん  
「結愛ちゃんの可愛い弟!」



**柴田 理緒ちゃん(佐間)**  
平成30年10月20日生まれ  
父・洋樹さん 母・由香利さん  
「三元気に明るく育ってね!」



**松本 華穂ちゃん(持田)**  
平成30年10月21日生まれ  
父・智行さん 母・彩香さん  
「毎日笑顔をありがとう♡」



**星野 海音ちゃん(門井町)**  
平成30年10月31日生まれ  
父・明彦さん 母・智恵さん  
「健やかに スクスク育ってね♡」

今月の表紙

9月12日、パラリンピックの関心を高めようと、荒木小学校体育館で県スポーツ局主催の「東京2020オリンピック・パラリンピックに係る小中学校向け競技体験」が行われました。

4～6年生の児童74人は、講師に招かれた車いすバスケットボールチーム「埼玉ライオンズ」の選手らから競技用車いすの特徴や乗り方を教わった後、5対5のミニゲームに挑戦。車いすの操作に苦戦しながらも、果敢にシュートを放つと、周囲からは大きな歓声が上がっていました。

●市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。

●市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。

●市報をダイジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



環境にやさしい  
植物油・インキ

市報ぎょうだは  
再生紙を  
使用しています